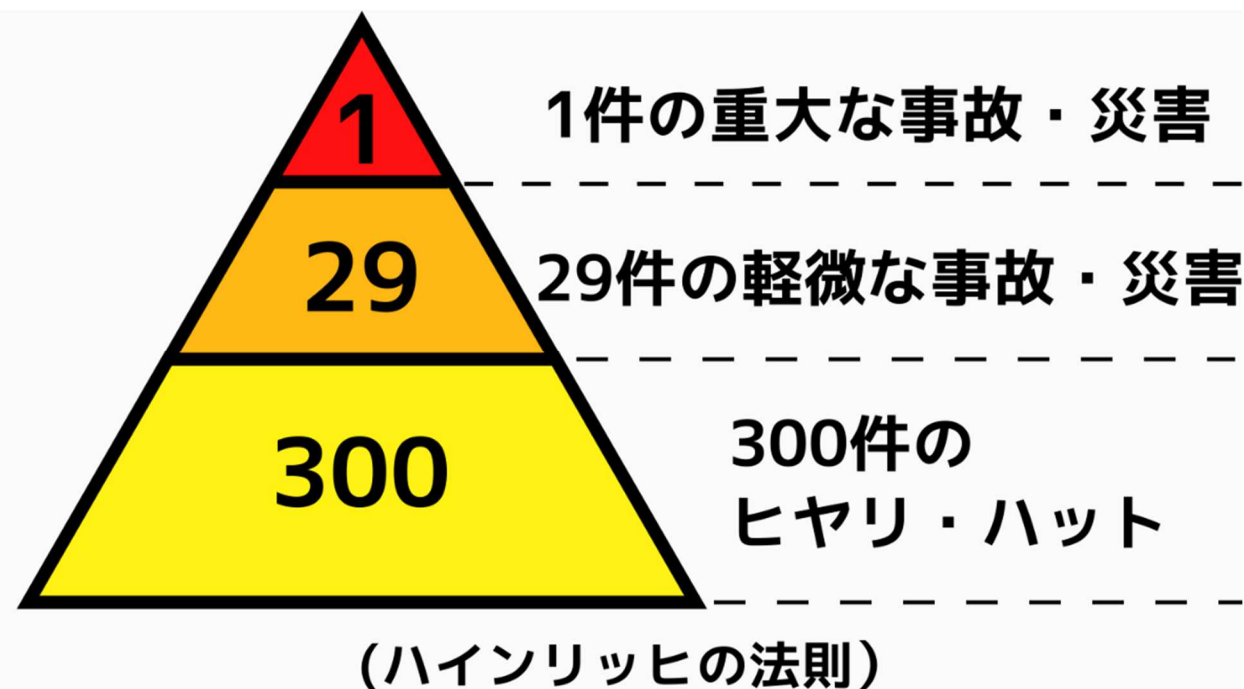


# 2年生学年だより

令和5(2023)年6月30日  
第15号  
吹田市立第二中学校 第2学年

## ハインリッヒの法則

みんなは『ハインリッヒの法則』というものについて聞いたことはありますか？  
どのような法則かというと、1つの重大な事故の背景には、29の軽微な事故があり、さらにその背景には300のヒヤリ、ハットとするような出来事があるというものです。  
大きな事故があれば誰だって反省をします。『なぜ、こんなこと・・・』と後悔することもあるでしょう。しかし、事故が起こってからでは手遅れになってしまうことも多いのです。  
もし、自分がガラスを割ってしまい、誰かがケガをしてから反省をしても、その傷は誰にも治せないかもしれません。だからこそ、重大な事故が起こる前の軽微な事故、ヒヤリとする場面にしっかりと目を向けてほしいと思います。  
『これくらいいいか』、『別に大丈夫やんなあ』  
そんな小さな考えの積み重ねが重大な事故を引き起こしてしまうこともあります。  
いま一度、自分やクラス、学年の行動に目を向けていきませんか？  
そして、ヒヤリ、ハットとする行動には声をかけ合っていきましょう！！



この話で重要なことは、比率の数字ではなく、災害という事象の背景には、危険有害要因が数多くあるということであり、ヒヤリハット等の情報をできるだけ把握し、迅速、的確にその対応策を講ずることが必要だということです。

## ブロークンウィンドウ理論からつなげていこう

5月25日の学年だよりで【ブロークンウィンドウ理論】についてお知らせしました。  
『建物の窓は壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴になり、やがて他の窓も間もなくすべて壊される』という考え方でしたね。  
この考え方は、様々な場面で活用することができると思います。

こんな置き換え方はどうでしょう？

- 例えば教室で  
『1人の乱暴な発言を放置すると、その発言にクラスの誰も意識を持っていないという象徴になり、やがて他のクラスメイトの発言も間もなく乱暴になってしまう』
- スポーツの世界でも  
『1人の乱暴なプレーを放置すると、そのプレーに審判が意識を持っていないという象徴になり、やがて他の人のプレーも間もなく乱暴になってしまう』

この学年だよりでは、様々な話題を発信していきますが、そのものを覚えておいてほしいだけでなく、その考え方を身につけて、実生活で活用してほしいという思いがあります。  
最近、いつもやっているたくさんのじゃれ合いから、ケガにつながりそうな場面が増えてきているような気がします。  
ひょっとすると、みんなだけでなく先生たちも含め、それらの行動への意識が低くなっていたのかもしれない。

毎日の中で起きているたくさんの“ちょっとした気になる行動”、“ちょっとした気になる発言”に対して、お互いが意識を持って声をかけ合い、大きさに関わらず事故が起こらないように、未然に防げる集団になっていこう！！

ちょっとまって！！  
その発言、その行動って、ホンマ大丈夫？



### 来週の予定

日付	内容	持ち物や連絡
7/3(月)	・Ⅱ期開始 ※時間割を要確認 ・水泳授業スタート ・補てん【金2】2-4 技家→社会	水泳の用意を忘れずに！
7/4(火)		
7/5(水)	・避難訓練(6限)	避難経路を確認しよう！
7/6(木)	・第4回一斉委員会	
7/7(金)	・補てん【月2】	